

第 1 回教育・保育の質検討部会の開催内容について

1 開催日時等

令和 6 年 5 月 13 日（月）15 時～16 時 30 分 東広島市役所 5 階会議室 501

2 議題と協議内容

(1) 報告事項

項目	内容
(仮称)第 2 期ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン改訂について	現行のアクションプランの基本目標は踏襲し、目標を達成するための取組内容を見直す。
現アクションプランの取組状況について	主な取組みの令和 5 年度までの実施状況と今後の課題等について報告。
広島大学との共同研究について	令和 5 年度に市と広島大学が共同で実施した「東広島市の就学前保育施設の保育の質と乳幼児の育ちに関する評価研究」の内容について報告。

(2) 部会員からの意見等

① 幼保小連携について

- ・目的を明確化し、市としての方向性や考え方をはっきりと示す必要がある。
- ・保育士が小学校に出向く機会も作る必要がある。

② 公開保育について

- ・公開保育は施設にとってハードルが高いイメージがあるので、施設が実施しやすいように具体的手法を市が示す必要がある。
- ・「公開保育」という名称を変えてもよいのではないか。

③ 保育コーディネーターについて

- ・保育士間での認知度が低い。
- ・形骸化してしまっているので、役割を明確化する必要がある。
- ・保育施設が主体的に県や各種機関と連携できる人材を確保するため、保育コーディネーターの育成は重要である。

④ 自然保育について

- ・具体的なプログラムを用意する必要がある。

⑤ 教育・保育施設へのアンケート項目について

- ・質問項目には説明を付けて、保育士が回答しやすいようにしてもらいたい。

⑥ 新たなアクションプランに盛り込むべき項目について

- ・支援が必要な児童を対象とした巡回相談や、保育士研修や教育・保育の研究、幼保小連携を行う「幼児教育センター」のような組織を作ってはどうか。

3 今後の予定

時期	事項	内容
7月	教育・保育施設へのアンケート実施	保育士を対象として、アクションプランへの取組状況や教育・保育の質に関するアンケートを行う。
9月頃	第2回部会開催	部会員からの意見及び教育・保育施設へのアンケート結果を参考に、計画素案を作成。
12月頃	第3回部会開催	計画案作成
3月		計画策定

<参考>教育・保育の質検討部会メンバー

	所属・役職等	委員名
委員	広島大学大学院人間社会科学研究科 教授	七木田 敦
	東広島市私立幼稚園・認定こども園協議会 代表 (西条幼稚園 園長)	伊藤 薫
専門 委員	広島修道大学非常勤講師	津川 典子
	学校法人難波学園 理事長	難波 元實
	青雲保育園 主任	上光 早苗
	こども未来部 保育課 専門員	吉田 美恵